



# 第12回上田八木・金融政策サーベイ(2017年6月)

発表日：2017年6月14日（水）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2017年6月9～13日
調査先	198先
回答率	95.4%

## (Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合（6月15日～6月16日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回4月25日)	変化幅
緩和	1 (構成比%)	0	+1
不変	99	100	▲1
引締	0	0	0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲1	0	▲1

## (Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回4月25日)	変化幅
低下	1	1	0
不変	89	89	0
上昇	10	10	0
短期金利予想DI	+9	+9	0

## (Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回4月25日)	変化幅
低下	4	3	+1
不変	79	80	▲1
上昇	17	17	0
2年国債金利予想DI	+13	+14	▲1

## (Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回4月25日)	変化幅
低下	4	6	▲2
不変	78	63	+15
上昇	18	31	▲13
10年国債金利予想DI	+14	+25	▲11

## 質問(Q5) 現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメント）からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回4月25日)	変化幅
1. 1年未満	5%	5%	0%
2. 1年以上3年未満	72%	66%	+6%
3. 3年以上	23%	29%	▲6%